

社協

第90号

社協あさきた
ボランティアセンターだより
編集発行
社会福祉法人
広島市安佐北区社会福祉協議会
広報委員会

〒731-0221 広島市安佐北区可部3丁目19番22号
安佐北区総合福祉センター4階
TEL.082-814-0811 FAX.082-814-1895
E-mail:kita@shakyo-hiroshima-city.or.jp
http://shakyo-hiroshima.jp/asakita

発行部数 / 52,000部
2013年(平成25年)夏

特集

NPO立ち上げ1年



高陽地区

NPO狩留家

活気あふれるまちおこし

安佐北区でも、高齢化や少子化、人口減少がすすんでいます。特に区の周辺部地域では、高齢化率50%を超える地域もあります。そのような中で、まちを元気にしていく取り組みとして非営利有償で地域共助型のNPO法人が注目をあびています。区内には小河内地区のOプロジェクトや、井原地区のマル愛、そして狩留家地区のNPO狩留家があります。今号では、設立から1年が経過したNPO狩留家の取り組みをご紹介します。



最盛期を迎え「狩留家なす」の収穫をされるNPO狩留家の松本夕江子さん

目次～主な内容～

- 特集 NPO狩留家の取り組み P1~P2
- ふれあいいきいきサロン P3

- わたしのまちのきらりびとさん P4
- いぎいきボランティア P5
- ふれあいフォトコンテスト作品募集 ほか P6

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を一部充当して作成しました。

30年つないできた 地域の宝



狩留家地区は安佐北区高陽の北端で三田地区、上深川小河原地区、東区、東広島市志和地区など多くの地区と山林の尾根づたいで接しています。芸備線の広島駅から8つ目の駅で35分、車でも約35分に位置します。平成25年3月末現在で人口1,359人、566世帯、高齢化率29%で、10年前と比べると人口は158人減少、世帯は2世帯増加、高齢化率は9%増加しています。生活必需品が揃う店舗がなく、病院は1軒、飲食店は2店程あります。

NPO狩留家は、静かで落ち着いた自然豊かな狩留家をたくさんの方に知っていただき、地域おこしや地域活性化に結びつけようと熱い思いをもった協力会員55名で、平成24年6月に立ち上げられました。

現在は、狩留家特産の野菜で、約30年前より品種保存されていた「狩留家なす」を専用ファームで栽培しています。なす以外にも大根やピーマンなどの野菜が栽培され、加工品としての販売も検討されています。

また、だれもが気軽に立ち寄れる場、地域の憩いの場として、水車小屋の設置や発電できるシステムも検討されています。

そのほかの活動として、地域の中での支え合いを目的として草刈りをされています。平成24年7月から約3カ月で50件と、短期間で多くの依頼が集中したそうです。

また、てくてく中郡古道プロジェクトを近隣の町と連携して実施し、エコツーリズムによる地域おこしの取り組みを行っています。(中郡古道…毛利輝元が作った吉田郡と広島市を結ぶ往還の名称)

さらなる取り組みとして、これからは福祉施設の誘致や空き家の活用などについてもすすめられています。

理事長の黒川さんは、「狩留家のまちをまずは知っていただくことで、少しでも若い世代の方たちがこのまちに住んでいただければ」と期待しています。



新たに挑戦する蕎麦づくり
9月の収穫を楽しみにされています。



中郡古道散策地図
地図を片手に散策されてみませんか。

NPO狩留家の詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ NPO狩留家
TEL 082-844-7278
HP <http://www.urbanne.jp/home/ishitetu/index.html>

プレゼントのお知らせ

本号で紹介した狩留家地区の特産品
「狩留家なす」を抽選でプレゼントします



今が旬の
狩留家なす

応募方法

はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、本紙で興味があった記事(2つ)を記入の上、8月15日(木)(消印有効)までに安佐北区社協(安佐北区可部3-19-22)へ。ファックス(FAX814-1895)からも応募可(応募は一人1通)。抽選5名。安佐北区在住の方が対象です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。(8月下旬発送予定)。

個人情報は商品の発送と読者層の調査に利用します。

高齢者・趣味 **プラチナ世代も学びます**



参加者10名で毎月第1・3金曜日の
午前に飯室ふれあいセンターで開催
☎飯室ふれあいセンター 082-835-1789
(月・水・金の午前)

子育て **実りのある世代交流**



毎月第1水曜日の午前に
日浦公民館で開催
☎日浦公民館 082-838-3220
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/hiura-k/>

サロンの取り組み

安佐北区内では、老若男女問わず楽しみ、子育てや趣味、学び
などを活かしたふれあいサロンなどが地域で取り組まれています。平成
25年3月現在で約200サロンあります。

高齢者・趣味 安佐地区の飯室では、2年前に開所した「飯室ふれあいセンター」を利用し
て、絵本の読み聞かせを行っています。平成25年4月からボランティアの方によって洋服のリ
フォームを始められ、物を大切にすることを伝えられています。また、高齢者を中心にパソコン教
室も同年5月より開始され、高齢者の方が生き生きと参加しています。

子育て 同地区のあさひが丘では、平成24年4月に子育て中のお母さんの声によって、子育てオーブ
ンスペース「たねまき」が開催されるようになりました。未就学児を中心とした親子と近所の高齢者と
の世代を越えた交流づくりがされています。可部地区の亀山では個人宅を利用して毎月1回子育てコ
ミュニティサロン「ノンナのリビング」が開かれています。子育て中のお母さん同士で情報を共有を
したり、食事や水遊び、悩みなどを話し合ったりと楽しく過ごしています。

障害 これまでは聴覚障害のある方たちが、交流や情報交換をする場所がありませんで
したが、平成25年4月から毎月1回火曜日(不定期)に「おしゃべり会」が始まりました。あ
る参加者は「これまで、障害者同士で集まることは少なかった。この場を情報共
有できる場にして、継続して開催できるようにしたい」と今後に向け、
意欲満々でした。

子育て中の親子が食事を囲んで交流
☎吉川さん宅 082-814-6545



子育て **自宅を子育てサロン**

しゃべ
手話るメンバー
☎安佐北保健センター(障害福祉係)
082-819-0613



障害 **おしゃべり会**



私たちのまちで、キラッと輝くような地域活動をされている方を、紹介しています。

今回は、
白木町井原の **奥 秀信さん**
(井原地区社協事務局長、
白木地区民生委員)です。

にこやかに、これまでの活動を振り返られる奥事務局長

長年にわたり地域の活動に取り組まれてきたとお聞きしていますが、きっかけは何だったのですか？

地域の活動に関わり始めたのは、40年くらい前でした。当時の子ども会や学校のPTAの活動がきっかけでしたね。活動をしていく内に、体協の会長をしたり、白木町の青少協の設立に関わったり、民生委員や地区社協の活動に参加したりと、地域の活動に参加するようになって今につながっています。活動を通して、いろいろな団体からも声をかけていただくようになりました。

本当に、多くの活動に関わってこられたのですね。こうして活動を長く続けていく上での秘訣は何ですか？

やはり、子どもや若い保護者の人たちといっしょに、わいわいと楽しくやれたからこそ続けることができたのだと思います。それに、新しい人と出会えることがとても楽しいです。また、常に新しい人たちとつながっていき、それを地域に広げていく事が大切であると感じています。だからこそ、これまで地域の活動を続けてこられたのだと思います。あと、私は団体の代表として先頭に立つのは性に合いませんので、一スタッフとして黒子の様に陰から活動を支援してきました。これも楽しかったから、今まで続けてこられたのだと思います。

人との出会いが活動を支える原動力になっているとは大変素敵なことですね。それでは、今、地域で活動される中で何か問題だと感じておられますか？

やはり、地域の少子高齢化と過疎化の問題が気がかりですね。子どもの数は減る一方で高齢者の方は増えてきています。また、空き家も増えてきています。ここを離れても、盆や正月を過ごすための場所として確保しておく為に、家を貸さない人も増えてきているのが現状ですね。地域の中では、新しく来た人たちに定住してもらおうと、土地の提供等、協力しています。

最後に、これからの地区社協の取り組みへのお考えについて教えてください。

地域の中のつながりをどうつづけていくかでしょうか。昔からの地元の人は隣り近所のつながりがあるのですが、新しい人たちと、どうやってつながりを作っていくかを考えるのが大変です。

現在、地域の取り組みとして芋ほりの体験会を行っています。可部の方面から約300人位の子どもと保護者の方が来られています。

あと、ふれあいいきいきサロンも、高齢者の方だけでなく子どもやその保護者など多世代の人たちが集まって、関わりをつくっていきける場になりたいと考えています。

これは単にお互いに楽しめる機会をつくるというだけでなく、地域の関係性をつくるうえで大切なことだと思っているからです。

同じ地域に住む人たちがお互いに楽しみながら関わり合える、その様な地域になれば素敵ですね。これからもがんばってください。ありがとうございました。



NPO法人「チャレンジド元氣」

元氣一番館の紹介

元氣が一番!!

障がいのある人が働ける場を作りたいとの思いから、支援施設「元氣一番館」を設立し、平成25年4月より手作り豆腐の販売を始めました。

手作り豆腐に取り組んだのは、誰もが好み、毎日食べても飽きない、美容と健康に良い食品だからです。

理事長の鈴木さんは「軽い気持ちで始めましたが、豆腐づくりは結構大変です。値段は少々高くても美味しいお豆腐を作りたい」と日々研究しています。

現在、働いている仲間は2名。豆乳を焦がさないように煮込むのがむずかしいけれど、日々楽しく豆腐作りをしています。購入の際はまずお電話を。

「元氣一番館」 安佐北区大林2-13-22-5 ☎082-847-6089
営業時間 10:00~15:30 (定休日 水曜、日曜)



魅力ある広報紙作り



その4 名文よりも「明文」に ネコの手アドバイス

小説家のような名文を書きたい。そう思ったことはないでしょうか。何かのあいさつでも、人に感心されるような内容にしたい。そう考えた人はきっといるでしょう。

美しく表現したい意欲は、あって当然です。ただ、広報という立場では、そうっておれません。何よりも「分かりやすさ」が求められます。名文よりも「明文」というわけです。

新聞記事も同じです。分かりやすくするために、長年培った書き方のノウハウがあります。「記事の逆三角形」と呼ばれるパターンです。

まず結論から書き、「それでね…」という感じで、その後少しづつ経過や背景、その他の必要情報を順次加えていく形です。

例えば、「土手の桜が今年も咲いた」としましょう。「その桜は、地域の住民たちが大事にしており、周りの手入れを続けてきた」といった



情報を書いていきます。最後に住民の一人の感想を加えます。

結論は最初に書いても、全部を語り切らないことで、読み手の気持ちを引っ張っていくことも必要です。

この場合に大事なことは、一つ一つの文を短くすることです。何とか何とかマル(句点)…の長さを、できるだけ短くするやり方です。こうすると主語と述語の関係がはっきり分かります。1つの文章に、2つ以上の内容を入れないこともポイントになります。ああでもない、こうでもないでは、いったい何が言いたいんだというだましませんか。

もう一つ付け加えれば、「しかし」とか「だが」「なので」といった接続語をできるだけ省くと、文を短くできます。

書き上げて、自分で声を出して読んでみると、文章の流れがスムーズかどうか分かります。身近な人に読んでもらって、意見を聞くのも一つの方法です。この場合、謙虚に耳を傾けることが何より肝要です。

広島文教女子大学 グローバルコミュニケーション学科
教授 岡馬 重充(おかは・しげみつ)

このシリーズは、広報紙づくりの工夫などを知ってもらうとともに、楽しく広報紙を読んでいただくための視点としてもお役に立てるよう掲載しています。

いきいき ボランティア

～継続は力なり～

ボランティアグループ「ありんこの会」

「ありんこの会」は、安佐北区社会福祉協議会ボランティアセンター登録グループです。平成4年から月一回、「老人保健施設さんさん高陽」を訪問し、交流しています。

活動は、10時から1時間半。「好きになった人」の曲に合わせて体を動かしたり、ハーモニカ演奏に合わせて合唱や踊りの披露、曲に合わせて鳴子を鳴らし、最後はお隣の方と手をつなぎ「靴が鳴る」を大合唱。

「ありんこの会」を受け入れる施設側も、活動当日は排せつの介助を早めに済ませ、みなさんがホールに集まれる協力をいただいています。

「活動を通し、みなさんとふれあうことで自分自身が学ばせてもらうことが多い」と語る中村紀久江代表、「一緒に楽しめる仲間がいて、入所されているみなさんの笑顔が嬉しく、励みになる」というグループのみなさん。

取材に訪問した日、レクリエーションが終わり、ご自分の部屋に帰りながらみなさんの「楽しかった～」「気が晴れた～」との声が聞こえ、「ありんこの会」が待ち望まれているのがうかがえました。



参加者募集

高校生～25歳までの方！



＼来て♪／ ＼見て♪♪／ ＼感じて♪♪♪／

ヤングボランティアスクール2013

青少年を対象に、体験学習を中心とした講座です。

平成25年8月7日(水)～8月9日(金)3日間

主会場 安佐北区総合福祉センター



スケジュール

	内容
1日目	○活動に向けて顔見知りになろう！(レクリエーション) ○活動体験先を知ろう！ ○活動に関わっている方に聞いて見たいことをまとめよう！
2日目	○井原っ子クラブの子ども達と交流しよう！ ○くちたにこにこくらぶの子ども達と交流しよう！ ○活動に関わっている方へインタビューしよう！
3日目	○インタビューのまとめと報告 ～活動を振り返って～ ○茶話会 ～自分でできるボランティアについて語ろう～

◆参加費:300円

◆申込:8月5日(月)までに電話、FAX、Eメールで。

FAX、Eメールは「ヤンボラ申込」と明記

◆申込先:安佐北区社会福祉協議会

TEL:814-0811/FAX:814-1895

Eメール:kita@shakyohiroshima-city.or.jp

※体験では、小学生の居場所づくりのサポートをしている「井原っ子クラブ」と障害のある子ども達が余暇活動を行っている「くちたにこにこくらぶ」に参加します。



ブンカッキーが来るよ!

予告

オープニングで♪ボランティアソング♪を発表!!

第12回 安佐北ボランティアフェスタ

～笑顔はじける 出会いの場～

このフェスタは、区内の“福祉に関わるボランティア”が中心となって開催します。

日頃の活動を紹介しています。楽しい体験を企画しましたのでぜひお越しください。

日時 平成25年9月28日(土) 10:00～15:30

場所 安佐北区総合福祉センター

内容 バザー、各種福祉体験コーナー、ステージ発表、抽選会など



共催 安佐北区ボランティアグループ連絡会、安佐北区社会福祉協議会

参加者募集

子育て応援ボランティア講座

～楽しく地域で子育て、サポートの輪～

日時: 9月13日(金)・20日(金) 10:00～12:00

会場: 安佐北区総合福祉センター3階予診・測定室

内容: ○安佐北区の子どもを取り巻く実情について ○子育て中の親の立場から

○最近の子育て事情 ～なぜ、今子育て支援が求められているのか～ ○ボランティア活動体験談 他

申込・お問合せ

安佐北区地域子育て支援センター(保健福祉課 保健指導係) TEL:819-0617 FAX:819-0602

お知らせ

やさしさのまちづくり屋台村2013

福祉・介護・子育て・環境・まちづくり・若者支援…可部のまちで活動する団体が大集合します！

日時 9月1日(日)

場所 可笑屋(安佐北区可部三丁目34-1)

☎082-847-5508

主催 やさしさのまちづくり屋台村実行委員会

第1回「あさきた子育て元気！フェスタ」を開催します

子育て情報や子どもとのふれあい遊びなど子育て中のパパ・ママ同士の出会いの場を準備して、お待ちしております！

日時 平成25年11月10日(日) 10:00～14:00

会場 広島文教女子大学(広島市安佐北区可部東1-2-1)

主催 あさきた子育て元気！フェスタ実行委員会

トピックス

穏やかな気候がぎゅっとつまった、瀬戸内生まれのレモンケーキ！瀬戸内海の岩城島産のレモンを使用したレモンケーキで平成25年5月にできた新製品です。今年の菓子博に出品後は、他県からも注文が来るほどの逸品です。ぜひご賞味下さい！シャレオや区役所近くのコンビニでも販売されています。

セット「レモン 檸檬 れもん」

(レモンケーキ、
レモンマドレーヌ、
レモンクッキー) 1,000円



その他に、お父さんのためのパン教室も8月3日(土)から開催されています。

お問い合わせ：NPO法人つくし工房可部 ☎ 815-1474

第28回

**ふれあい
フォトコンテスト**

**作品集
募集**

人と人とのつながり・心あたたまる瞬間！
一枚の感動をお寄せください。



第27回 優秀作品



第26回 最優秀作品

応募資格：安佐北区内にお住まいの方

応募期間：平成25年8月1日(木)～10月31日(木)必着

賞：入賞作品に対し、最優秀賞、優秀賞、佳作には賞状・副賞を贈呈。

入賞発表：入賞者に直接通知。

※安佐北区社会福祉協議会の広報紙「社協 あさきた」へ掲載します。

表彰式：平成25年11月30日(土)第34回安佐北区社会福祉大会にて

協賛：財団法人 多山報恩会

申し込み
問い合わせ

社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会
☎ 814-0811 FAX 814-1895

楽しく学べる子離れ・親離れ

～わが子の強みを見つけるために～
障害がある子どもの暮らし力を
育む為に、家族や周囲の者がどの
様にどう取り組めば良いか

内容

日時 平成25年8月28日(水) 12:30～15:30

場所 安佐北区地域福祉センター 6階大会議室

対象 障がいがある方のご家族、支援者、及び関心のある方

定員 100名

問い合わせ先・申し込み 安佐北区社会福祉協議会

TEL 814-0811 FAX 814-1895



可部福祉センターからのお知らせ

<申し込み・問い合わせ> ※休館日：毎週火曜日

可部福祉センター(安佐北区可部南2-23-28 / 電話・FAX:815-6480)

夏休み子どもフリータイム

日時 8月8日(木) 13:30～16:00

場所 可部福祉センター 2階ホール

内容 工作(わりばしでっぽう、からくり絵あそび、わなげ、Wi iスポーツ ほか)

対象 小学生とその家族

子どもだけの参加もできます。但し、幼児の方は保護者同伴をお願いします。

参加費 無料

協力 可部南地区社会福祉協議会、
夏休み子どもフリータイム実行委員会

小学生サロン

日時 8月22日(木) 14:00～16:00

場所 可部福祉センター 2階ホール他

内容 広島文教女子大学付属高校のお姉さんたちとゲームをしながらお勉強♪

対象 小学生

子どもだけの参加もできます。但し、幼児の方は保護者同伴をお願いします。

参加費 無料

共催 可部南地区社会福祉協議会

ご協力ありがとうございました

平成24年度 共同募金安佐北区分会実績額

募金額 / 13,076,723円

(平成25年8月31日現在)

内訳/戸別:10,981,936円 街頭:201,340円 法人:1,433,500円 職域:370,947円 その他:89,000円

赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金です。災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立っています。

スマホでばしゃり！

今号の新企画。皆さんがスマホや携帯等で写した日常の一コマを掲載いたします。今号はPN:ピーちくさん(71)より頂いた、「ヒマワリだって夏バテ中」です。

このコーナーでは、皆さまがスマホや携帯等で撮った写真を募集しています。写真は人物や風景等、何でも構いません。興味を持たれた方は、奮ってご投稿ください。お待ちしております！



愛の灯

安佐北区社協に、みなさまより多額の寄付をいただきました。みなさまのご厚意に感謝申しあげ、この報告いたします。

平成25年4月1日～平成25年7月15日(香典返し寄附) 大下 浄一様

★編集後記★

35度以上となる猛暑日が続いてる毎日です。

今号から読者プレゼントを始めました。なすは体をクールダウンさせる効果があると言われています。夏野菜を今晚のレシビに加えさせていただきます。

あなたのまちの「きらりびとさん」や「新たな取り組み」イベント情報などを、広報紙に掲載希望のものがありましたら、区社協事務局までご連絡ください。

次号(9月)は11月下旬発行予定です。

広報紙のご意見・ご感想もお待ちしております。